



園だより 6月号



茶屋こぼと保育園
☎ 398-5130

新型コロナウイルスの感染防止の登園自粛にご協力いただきありがとうございます。
やっと保育園にも子どもたちの元気な声や笑顔が戻ってきました。とはいえまだまだ不安な日々が続きますので、体調管理には十分気をつけて保育をしていきたいと思っております。又、まだまだ自粛をしていただいているご家庭もあることや3密を避けるために、いろいろな行事のキャンセルや行事のあり方なども気を付けながら行っていきたくて思っております。

これから梅雨の季節ですね。外遊びも少なくなるかもしれませんが、雨音を聞いたり、雨に濡れるお花から落ちる雨粒や雨上がりの滴を触ったりして、梅雨ならではの風情に上手に付き合っていきたいと思っております。この梅雨が終わると夏の到来です。子ども達の大好きな水遊び、プール遊びが待っていますよ。プール遊びもいろいろと工夫しながら行っていきたくて思っています。

7月半ばから園舎改修工事も始まります。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



今月の予定

25日	木	誕生日会
29日	月	避難訓練



6月のおやつ

1・15・29	りんご・菓子
2・16・30	小倉サンド
3・17	ココアパンケーキ
5・19	オレンジゼリー・菓子
6・20	スナックパン
8・22	フルーツミックス・菓子
9・23	おにぎり
10・24	南瓜パンケーキ
11	ヨーグルト・菓子
12・26	ぼたもち
13・27	スナックパン
25	アジサイゼリー

★、誕生日会の保護者の方の参加ですが、当分の間控えさせていただきます。

尚、誕生日会は各クラス単位で行いますので、よろしくお願いいたします。

★年間行事予定でお知らせしております「いちご動物園」は動物園の開催自粛により、9月9日に変更させていただきます。

【たなばたまつり】の意味？



七夕は昔中国から伝わった夏まつりです。ご存じのように、ひこ星と織姫という男女の星が、天の川をはさんで向かい合っていて、この2つ星が、年に1度、7月7日にだけ出会うという言い伝えから、まつりが始まりました。

【七夕飾りや短冊の由来は？】

織姫様のように機織りやお裁縫が上手になりますように、「織り姫様のように願い事かかないますように」と野菜や果物を備えてお祭りをするようになりました。やがていつしか人々は「字が上手になりますように」「織り姫のように願いが叶いますように」と笹や竹に5つの色の短冊を飾るようになりました。竹に飾るのは、丈夫で不思議な力を持つとされていたからだそうです。短冊の5色もそれぞれにちゃんと意味があるそうです。

日本の有名な「七夕祭り」が通常なら各地で開催されるのですが、今年は新型コロナウイルスのために、中止になっているようで、本当に残念ですね。

「早寝早起き朝ごはん」は大事だね！

早起きしてすっきり目覚め、朝の光を浴びて朝食をしっかり食べ日中たっぷり遊べば夜はぐっすり眠れます。
夜更かしすると体温のリズムが後ろにずれたり、朝食を抜くと体温がうまく上がらなかったりと日中の行動に影響があることがわかってきています。
遊びに対しても意欲が持てなかったり、体がだるくてゴロゴロしたり、気分がのらなかったり、イライラして怒りっぽくなっておともだちとのトラブルが増えたりと、楽しい一日が過ごせません。
生活リズムを整えることで、ホルモンの分泌や体温調節、睡眠と覚醒のリズムがプログラミングされているのです。
乳幼児期にこうした生活習慣を身に付けることは、後々生活習慣病の予防にもつながりますよ。
子どもたちが、楽しく一日が過ごせるよう、家族みんなで、「朝ごはん」を食べて、元気に保育園に来てくださいね。

茶屋こぼと保育園の保育目標

- ① 心身共に健康な体づくりをします。
- ② 優しさ、思いやり、共感できる心を育てます。
- ③ 友だちと楽しく遊ぶ力を培います。
- ④ 自分で考え、行動できる力を培います。
- ⑤ いろいろなことに興味、関心を持ち、意欲的に生活する力を培います。



～昔話の魅力～

子どもにとって昔話は、とってもしっくりと、心惹かれる物語です。昔むかしという始まりは、人を話の中に引き入れる魔法の言葉なのです。

ちなみに日本の五大昔話は「ももたろう」「かちかちやま」「さるかに合戦」「舌切り雀」「花咲爺」ですが、心に残っているものはありますか？

ところが近年、昔話は敬遠されるようになってきたようです。そんな声を多く聞くようになったのはいつのころからでしょう。育児雑誌の編集者から、昔話を掲載すると、「怖い話は載せないで」という抗議がくると聞きました。ことに嫌われているのが、さく中の人物が懲らしめられたり、結末に死を迎えるものなどか。五大昔話といわれるものは、全てそれらに該当してしまいます。

では母親たちが懸念する昔話の残酷さや怖さは、子どもたちにどう受け止められているのでしょうか。昔話は子どもの育ちに与える意味などを考えてみましょう。今では昔話がタイトルは同じでも父母の意向をくんで、物語を平和に終わらせてしまったりすることもあるようです。怖いものを取り除き、優しい話にすることは教育的な配慮なのでしょうか。

怖さと向き合うことも、時に心の成長に欠かせないでしょう。ただしそれには、物語に出会う年齢と作品の質、読んでくれる人との人間関係が大事です。信頼できる人が読んでやれば、子どもは怖がったりしないものです。

「3匹のヤギのガラガラドン」も「ももたろう」もトロールという化け物や鬼の出でくる怖いお話です。それらの絵本が脳裏に焼き付いているのは、怖いからではなく、物語そのものの魅力にひかれたからでしょう。

丁寧に作られた面白い物語を読むことで人は作品の質を判断する物差しを練り上げていきます。絵本選びは、子どもをどうとらえるかという気持ちの表れだと思いませんか。子どもは半人前の大人ではなく、一人前の子どもです。妙に子ども扱いされたら、自尊心を傷付けてしまうでしょう。昔話は深く広い物語の宝庫です。安心して読んであげましょう。

「保育通信」より一部抜粋

新型コロナウイルスの自粛に伴う、保育料、給食費について

4月、5月に登園を自粛していただいた分はひとまず全額引き落としをされますが、翌々月で清算させていただきます。例えば4月の出席の給食費（出席して給食を食べた分のみ日割計算）は6月分させていただきます。5月分は7月にて清算させていただきます。（幼児クラス）又、乳児の保育料の返金は翌々月にて返金されます。よろしくお願いいたします。わからないことがあれば、お気軽にお尋ねください。